

## 2023年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年11月10日  
東

上場会社名 バルミューダ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6612 URL https://corp.balmuda.com  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 寺尾 玄  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 佐藤 雅史 (TEL) 050(3733)9206  
 四半期報告書提出予定日 2023年11月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年12月期第3四半期の連結業績 (2023年1月1日～2023年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第3四半期	7,955	△36.3	△1,143	—	△1,029	—	△1,820	—
2022年12月期第3四半期	12,493	12.7	157	△63.7	74	△81.8	43	△83.6

(注) 包括利益 2023年12月期第3四半期 1,806 百万円 ( — %) 2022年12月期第3四半期 47 百万円 ( △82.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第3四半期	△215.96	—
2022年12月期第3四半期	5.23	5.18

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第3四半期	7,461	4,520	60.6
2022年12月期	9,907	6,312	63.7

(参考) 自己資本 2023年12月期第3四半期 4,520 百万円 2022年12月期 6,312 百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年12月期	—	0.00	—	—	—
2023年12月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2023年12月期の連結業績予想 (2023年1月1日～2023年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,300	△24.4	△1,350	—	△1,200	—	△2,000	—	△237.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

## ※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年12月期3Q	8,436,700株	2022年12月期	8,382,900株
② 期末自己株式数	3,067株	2022年12月期	1,367株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	8,430,434株	2022年12月期3Q	8,378,137株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

## ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社グループとして約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結損益計算書関係) .....	8
(セグメント情報等) .....	8
(収益認識関係) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における国内の景気は緩やかに回復しているものの、先行きについては、世界的な金融引き締めに伴う影響や中国経済の先行き懸念等、海外景気の下振れが国内景気を下押しするリスクとなっています。また、物価上昇、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある状況が続いています。

当社グループに関連する家電業界においては、一般社団法人日本電機工業会（JEMA）によると、2023年1月から9月における民生用電気機器の国内出荷金額は1兆9,317億円（前年同期比98.5%）となりました。トースター、電子レンジ、扇風機等の当社主力製品が属する製品カテゴリーにおいても、出荷数量が前年を下回りました。外出機会の増加による支出先の変化や物価上昇による消費者マインドの冷え込みが、家電製品の販売動向に影響を与えているものと考えられます。

このような環境下、当社は売上回復、収益力向上のための諸施策を推進しました。国内においては、工場移管により原価低減を実現したBALMUDA The Light（太陽光LEDデスクライト）、性能と採算性を改善したBALMUDA The Range（オープンレンジ）の新モデルを6月に発売しました。新製品としては、ライブキッチンのおいしさと楽しさを実現するBALMUDA The Plate Pro（ステンレスホットプレート）を9月に発表しました（10月発売）。なお、当第4四半期連結会計期間となる10月にはBALMUDA The Toaster（スチームトースター）の新モデルを発売、11月にはBALMUDA The Toaster Pro（サラマンダー機能つきスチームトースター）の新モデルを発表しました（同月発売予定）。

当社製品の体験価値を伝える活動としては、旗艦店BALMUDA The Store Aoyamaを活用した期間限定カフェをオープンしたほか、製品体験イベントの実施やSNSでのレシピ提案等を実施しました。

また、今後の更なる成長へ向けた取り組みとして、8月に小型風力発電機の実証実験を開始することについて発表しました。9月にはJAXA（国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構）にて風洞実験を実施、当第4四半期連結会計期間となる10月には群馬県にて屋外での実証実験を開始しました。

海外においては、BALMUDA The Brew（オープンドリップ式コーヒーメーカー）を2月に中国で、5月に米国で発売、BALMUDA The Gohan（電気炊飯器）の新モデルを3月に韓国で発売、9月には台湾でBALMUDA The Rangeを発売し、展開各国において製品ラインナップを拡充しました。また、当第4四半期連結会計期間となる11月には、新たな展開エリアとなるタイ、シンガポール、マレーシアでのブランド展開開始を発表しました。

当第3四半期連結累計期間における業績については、諸施策を着実に推進したものの、厳しい消費環境の影響を受けて売上高は前年同期の実績を下回り、その影響により営業損失を計上しました。また、営業外収益において為替差益を計上した一方で、当第1四半期連結会計期間に携帯端末事業の終了決定に伴う特別損失と繰延税金資産の取り崩しによる法人税等調整額を計上したことにより、親会社株主に帰属する四半期純損失を計上しました。

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	前期差	前期比(%)
売上高	12,493	7,955	△4,537	△36.3
営業利益又は営業損失(△)	157	△1,143	△1,301	—
経常利益又は経常損失(△)	74	△1,029	△1,103	—
親会社株主に帰属する四半期純利益 又は親会社株主に帰属する四半期純 損失(△)	43	△1,820	△1,864	—

国内販売については、外出機会の増加に伴う支出先の変化や物価上昇による生活防衛意識の高まりの影響を受けました。海外販売については、同様の消費環境に加え、韓国への出荷調整等の影響がありました。

(単位：百万円)

地域別売上高	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	前期差	前期比(%)
日本	7,870	5,520	△2,349	△29.9
韓国	3,077	1,302	△1,775	△57.7
北米	445	410	△34	△7.7
その他	1,100	722	△378	△34.4
合計	12,493	7,955	△4,537	△36.3

(単位：百万円)

製品カテゴリー別売上高	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	前期差	前期比(%)
空調関連	2,903	1,673	△1,230	△42.4
キッチン関連	7,761	5,282	△2,478	△31.9
携帯端末関連	355	2	△352	△99.2
その他	1,473	996	△476	△32.4
合計	12,493	7,955	△4,537	△36.3

なお、当社グループは家電事業のみの単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しています。

## (2) 財政状態に関する説明

### (資産)

当第3四半期連結累計期間末における資産合計は7,461百万円となり、前連結会計年度末と比べて2,446百万円減少しました。

流動資産は6,248百万円（前連結会計年度末比1,884百万円減）となり、これは主に売掛金が1,448百万円、現金及び預金が402百万円減少したことによるものです。固定資産は1,032百万円（前連結会計年度末比561百万円減）となり、これは主に携帯端末事業の終了決定に伴う有形固定資産、無形固定資産の減損によるものです。

### (負債)

当第3四半期連結累計期間末における負債合計は2,940百万円となり、前連結会計年度末と比べて654百万円減少しました。

流動負債は2,486百万円（前連結会計年度末比824百万円減）となり、これは主に買掛金が423百万円、短期借入金が400百万円減少したことによるものです。固定負債は454百万円（前連結会計年度末比169百万円増）となり、これは長期借入金が169百万円増加したことによるものです。

### (純資産)

当第3四半期連結累計期間末における純資産合計は4,520百万円となり、前連結会計年度末と比べて1,791百万円減少しました。これは主に利益剰余金が1,820百万円減少したことによるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年12月期の連結業績予想の修正については、本日（2023年11月10日）に公表しました「2023年12月期 連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,246	844
売掛金	2,660	1,212
商品及び製品	3,708	3,330
原材料及び貯蔵品	321	309
その他	376	732
流動資産合計	8,313	6,428
固定資産		
有形固定資産	761	731
無形固定資産	490	221
投資その他の資産	342	79
固定資産合計	1,594	1,032
資産合計	9,907	7,461

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,121	697
短期借入金	800	400
1年内返済予定の長期借入金	330	534
賞与引当金	89	41
製品保証引当金	368	264
事業整理損失引当金	—	10
その他	600	538
流動負債合計	3,310	2,486
固定負債		
長期借入金	284	454
固定負債合計	284	454
負債合計	3,595	2,940
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,414	1,422
資本剰余金	1,411	1,419
利益剰余金	3,480	1,660
自己株式	△0	△0
株主資本合計	6,307	4,501
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	5	19
その他の包括利益累計額合計	5	19
純資産合計	6,312	4,520
負債純資産合計	9,907	7,461

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
売上高	12,493	7,955
売上原価	8,341	5,570
売上総利益	4,152	2,385
販売費及び一般管理費	3,994	3,528
営業利益又は営業損失(△)	157	△1,143
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	0	0
為替差益	—	132
雑収入	3	3
営業外収益合計	3	136
営業外費用		
支払利息	12	12
為替差損	68	—
開業費償却	—	7
雑損失	5	1
営業外費用合計	86	21
経常利益又は経常損失(△)	74	△1,029
特別利益		
固定資産売却益	—	0
特別利益合計	—	0
特別損失		
固定資産除却損	—	5
事業整理損	—	532
特別損失合計	—	538
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	74	△1,567
法人税、住民税及び事業税	4	2
法人税等調整額	25	251
法人税等合計	30	253
四半期純利益又は四半期純損失(△)	43	△1,820
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	43	△1,820

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	43	△1,820
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	3	13
その他の包括利益合計	3	13
四半期包括利益	47	△1,806
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	47	△1,806

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

(事業整理損)

当第3四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)

携帯端末事業の終了決定に伴い、携帯端末事業に係る固定資産の減損損失293百万円を含む、携帯端末事業の終了によって見込まれる費用532百万円を「事業整理損」として特別損失に計上しています。

減損損失の内容は以下のとおりです。

場所	用途	種類
本社(東京都武蔵野市)	事業用資産(携帯端末事業)	ソフトウェア等

当社グループは、事業用資産については、事業を基準としてグルーピングを行っています。

事業用資産については帳簿価額を回収可能限度額まで減額し、当該減少額293百万円を「事業整理損」として特別損失に計上しました。その主な内訳は、ソフトウェア187百万円、工具、器具及び備品73百万円です。

なお、当資産グループの回収可能価額は使用価値により測定しており、使用価値については、将来キャッシュ・フローが見込まれないため、工具、器具及び備品は備忘価額の1円、ソフトウェア等無形固定資産はゼロとして評価しています。

(セグメント情報等)

当社グループの事業セグメントは、家電事業のみの単一セグメントであり重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しています。

## (収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

当社グループは、家電事業のみの単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略していますが、顧客との契約から生じる収益を分解した情報は以下のとおりです。

## 1. 地域別の内訳

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
日本	7,870	5,520
韓国	3,077	1,302
北米	445	410
その他	1,100	722
顧客との契約から生じる収益	12,493	7,955
その他の収益	—	—
外部顧客の売上高	12,493	7,955

## 2. 製品カテゴリー別の内訳

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
空調関連	2,903	1,673
キッチン関連	7,761	5,282
携帯端末関連	355	2
その他	1,473	996
顧客との契約から生じる収益	12,493	7,955
その他の収益	—	—
外部顧客の売上高	12,493	7,955